



鹿追町 道路ボランティア清掃

平成 21 年 4 月 25 日 (土) 鹿追町「花と芝生の町づくり」推進協議会主催の道路ボランティア清掃が、鹿追町のメインストリートである国道 274 号から道々 133 号にかけて、総延長 6.2 km にわたり行われました。

当日朝 10 時頃、集合場所である町民ホール前の駐車場に行くと、すでに大勢の方々が集まっていました。参加者の顔ぶれを見ますと、下は小学生のお子様から高校生、そして年配の方もおり、総勢約 150 名のそれぞれがスコップやほうきなどを手に準備万端の様子でした。



さあ、始めるぞー



大西会長のご挨拶



吉田町長のご挨拶



北のみち普請 バッジの贈呈

「花と芝生の町づくり」推進協議会 大西会長、吉田町長の開会の挨拶の後、共催している当北のみち普請を育てる会からも参加記念のバッジを贈呈させていただきました。

開会式の後、全体が 6 つの班に分かれ、歩道の掃き清掃、車道と歩道の境界の土砂清掃、歩道法面のゴミ拾いなど、手馴れた手順で配置につき清掃を行っていました。

いきなり！！タイヤショベル出動

場所によっては大量の土砂が集まり、土のう袋では間に合いません。そこはタイヤショベルを使って一気に片付けます。参加者の 1 人は「縁石の際の土を今取っておかないとすぐ雑草が生える。今掃除しておけば雑草も生えづらい」と仰っていました。



タイヤショベルで一気に掃除

え！！そこまでやるの

排水枡のスノコ回りには土砂が詰まっています。それを一個一個あけ、掃除していました。集められた土砂は、鹿追町のトラックに回収されました。

この道路清掃ボランティアは、昨年、鹿追町が「ガーデンアイランド」に参加したことをきっかけに始められ、今年で 2 年目になるそうです。参加された方たちからは「今年初めて参加したが、**自分達の使う道路を自分達の手で清掃**するというのはとても大事なことだ」、「**花の町鹿追**の道路が汚れているのは恥ずかしいことだ」との声を聞きました。



排水枡の回りもきれいに掃除

清掃終了後、「花と芝生の町づくり」推進協議会の大西会長に幾つかお伺いしました。

Q . このボランティア清掃は、誰の発案でこのように大規模に行われるようになったのですか。

A . 去年、ガーデンアイランドを前にして、誰かが道路清掃しようと言い出し、推進協議会が音頭を取って始めたものです。ですから、町の有志の発案と言うところでしょうか。

Q . このような清掃活動を行う上での苦労や良かったことは。

A . 苦労と言うことはないけど、道路管理者や町の協力がないと大変だと思う。自衛隊や消防も協力してくれる。良かったことは、ゴミのポイ捨てが少なくなったこと。少なくとも、町民のポイ捨てはないと思うよ。道路の表だけではなく、裏だってきれいになった。

Q . 町民が、花づくりに熱心なのはなぜでしょうか。また、これ程盛んになったのはいつからですか。

A . もともと花づくりが好きな人がいて、下地はあったと思います。その中で、2001年の「第3回国際花サミット」の開催が大きな起爆剤になりました。今では、「北海道のフラワーマスター」が68人になりました（2008.3時点）。これは道内市町村の中で2番目に多い数です。



お年よりも子供も参加していました



もう一度総点検

鹿追町では、以前より街を挙げての花と芝生の町づくりを行っています。平成17年9月にカナダで行われた「国際花の町づくりコンクール」では、総合評価最高ランクの「5つ花」を得ています。そのなかでも、各評価項目の「花飾り」は最高の評価点でした（鹿追町 HP 花特集参照）。鹿追町は、その後もたびたび花に関する催しを開催してきております。

私がこの取材を通じて感じたことは、このような花に関する町の取組みが住民に強く支持されていること、それによって**行政と住民の一体感・信頼関係**が構築されていることでもあります。

きれいになった道路や街に花が咲きそろうのは、7月くらいからとのことなので、一度、きれいに彩られた鹿追の町を訪れてみてはいかがでしょうか。



国際花の町づくりコンクール評価証
(鹿追町 HP(<http://town.shikaoi.hokkaido.jp/>)より)

(取材：事務局 荒川・川上)